

市報こがねい「情報ア・ラ・カルト」原稿作成方法のご案内（後援事業用）

平成 19 年 4 月 15 日号から適用
平成 22 年 4 月 15 日号から変更適用
平成 24 年 1 月 1 日号から変更適用
平成 27 年 1 月 1 日号から変更適用
平成 29 年 4 月 1 日号から変更適用
令和 2 年 11 月 1 日号から変更適用
令和 6 年 4 月 1 日号から変更適用

【情報ア・ラ・カルトとは】

市報こがねいで、市民グループ等が開催するイベント等で、市の後援事業などの催し物を紹介するコーナーです。市報掲載を希望する場合は、原稿作成方法のとおり作成してください。原稿用紙は、ご案内の巻末にありますので、ご活用ください。

【受付・締切期限】

原稿は、後援の手続きを担当した各担当課に提出してください。締切日時等は、おおむね発行日の 1 か月前ですが、各月によって異なる場合がありますので、各担当課にお問い合わせください。締切期限は厳守してください。

【重要事項】

- 掲載後の問い合わせは各主催団体の責任で応じてください。
- 市報掲載上の表現等については、変更及び削除等、ご希望に添えない場合があります。
- 原稿は市報掲載を前提としていますが、市報の紙面に限界があるため、必ずしも掲載をお約束するものではありません。市の重要なお知らせ等の掲載の必要性がある場合は、記事の一部を削除、または、掲載できない場合もあります。
- 多くの団体の掲載の機会を確保するため、市報掲載は 1 団体につき年度中（4 月～翌年 3 月）1 2 回程度（概ね月 1 回）まででお願いします。

上記をご了承のうえ、申請してください。

【原稿作成方法】

1 字数

原稿は、タイトル・記号・スペースを含めて、**144字以内**とします。

用紙は、本案内の最終ページ「情報ア・ラ・カルト原稿用紙」を活用してください。
その他の用紙で原稿を作成する際は、**1行16字**（横書き）で作成し、欄外に、赤字で後援事業である旨を明記し、後援の手続きを担当した課名を記入してください。

2 本文

①項目の順番

掲載したい内容は、次の順に記載してください。

開催日時・場所・講師・対象者・定員・費用（参加費、入場料）・その他（持ち物、保育の有無など）・主催団体名・申込先（問合先）

このうち、**開催日時・場所・主催団体名、申し込み（問合先）の電話番号**は必ず明記してください。

なお、個人の電話番号を市報に掲載したくない場合は、メールアドレスのみの記載も可能です。その場合でも、広報係との記事の確認用に原稿の欄外に電話番号の記載をお願いします。

項目ごとに**時・所・講**等で区切り、続けて記入してください（**時**も1文字とします。）。

内容を省略するため、タイトルで事業内容がわかるようにしてください。本文中に「後援小金井市」等の記載は不要です。

申し込み・問い合わせの連絡先（住所や電話番号）が主催団体以外の場合（個人宅等）は、「主催 ○○○」等で主催団体名を明記してください。

② 用字

「常用漢字表」（昭和56年内閣告示）、「送り仮名の付け方」（昭和48年内閣告示）、「現代仮名遣い」（昭和61年内閣告示）を基準とします。

基準に合わせて原稿の修正をさせていただく場合があります。

（例）各々→おのおの	御話→お話	して下さい→してください
都度→つど	この事→このこと	出来る→できる
概ね→おおむね	及び→および	巧い・上手い・旨い→うまい
美味しい→おいしい	お洒落→おしゃれ	する時→するとき
是非→ぜひ	60歳位→60歳くらい	友達、私達→友達、私たち

③文体

箇条書きを基本としてください。

④慣用的な表現を使用してください

読み手にわかりやすい表現で原稿を作成してください。

市報で慣用的に使用している表現については、表現を統一してください。

(慣例的な表現・例)

定員〇人 (多数抽選)

保育有り

5人 (「5名」は使いません)

2か所 (「ニヶ所」は使いません)

雨天実施 (「雨天決行」は使いません)

3 記載例

① タイトル

事業の内容を簡潔に表現してください。

タイトルの頭に必ず●を付けてください。(●も一文字と数えます。)

(例) 5 10 15 16

●	親	と	子	の	ふ	れ	あ	い	小	金	井	ク	ラ	シ	ッ
ク	コ	ン	サ	ー	ト										

② 数字

算用数字を使用。2桁以上の数字は2桁で1文字と数えます。

5 00 円

(3文字と数えます。「5百円」は使いません。)

本 町 6 - 6 - 3

③ 金額

3桁で、を記してください。

1 , 5 00 円

10 , 0 00 円

(4文字と数えます。 , は半角とみなします。)

④記号

1文字と数えます。記号は必要最小限とし、「!」や「?」の多用は避けてください。

(水)

6 月 10 日 ~ 15 日

⑤日時

「令和〇年」は省略してください。募集時期と開催日時が違う年の場合は、必要最小限で記入してください。

時間の午前・午後は重複部分を省略してください。午後0時は正午と表現します。

イベント名に組み込まれているなどの場合を除き、西暦は原則使いません。

平成 29 年 12 月 29 日～平成 30 年 1 月 3 日の記載例（現在が平成 29 年の場合）

12	月	29	日	～	平	成	30	年	1	月	3	日
----	---	----	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---

午	前	9	時	30	分	～	10	時	30	分
---	---	---	---	----	---	---	----	---	----	---

午	前	11	時	～	午	後	0	時	30	分
---	---	----	---	---	---	---	---	---	----	---

サ	マ	－	コ	ン	サ	－	ト	2	0	1	7
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑥曜日

開催日の曜日は必ず記載してください。毎週同じ曜日に開催する場合は、「毎週」「いずれも」等で、まとめて記してください。祝祭日は、日曜日に当たる場合も（祝）と表現します。

6	月	1	日	～	29	日	の	毎	週	水	曜	日	午	前	9
時	～	10	時												

⑦電話番号

市内（外）局番は省略しないで記します。☎と FAX が同じ番号の場合は、＝の後に、番号を記します。

☎	0	42	－	3	83	－	11	11
---	---	----	---	---	----	---	----	----

☎	FAX	=	0	42	－	3	87	－	12	24
---	-----	---	---	----	---	---	----	---	----	----

⑧単位 1 ますに 2 文字とします。

3	Km
---	----

⑨講師

講師の肩書きは、できるだけ公の場での使用に耐えうるものにしてください。また、原則、企業名は入れません。

（例）「なんでもおもちゃ博士」→「玩具店経営」

「虫大好き先生」→「自然環境研究家」

⑩定員

定員がある場合は、応募方法や申込期限、定員を超えた応募があった場合はどうするか

(原稿例)

タイトルは●を含めて 30 字程度まで。なるべく内容がわかるように

タイトルと本文の間は 1 文字空ける

●	子	ど	も	自	然	観	察	会	時	6	月	18	日	(
土)	雨	天	中	止	所	市	役	所	本	庁	舎	前	午	前	
10	時	集	合	～	武	蔵	野	公	園	正	午	解	散	講	
金	井	太	郎	さ	ん	(小	金	井	大	学	教	授)	対
小	学	校	4	～	6	年	生	お	よ	び	保	護	者	定	30
人	(当	日	先	着	順)	問	小	学	校	自	然	愛	好
会	・	鈴	木	(☎	0	42	—	3	87	—	98	03)	へ

●	夏	季	は	つ	ら	つ	テ	ニ	ス	大	会	、	、	、
ル	ス	・	ダ	ブ	ル	ス)		時	7	月	18	日	(
)	午	前	9	時	か	ら	、	19	日	(月)	午	前
時	か	ら	所	市	テ	ニ	ス	コ	一	ト	場	¥	1	, 2
円	申	6	月	25	日	、	26	日	に	電	話	で	、	小
井	テ	ニ	ス	愛	好	会	・	鈴	木	(☎	0	42	—
87	—	98	03	=	午	前	9	時	～	午	後	2	時)

有料の場合は、金額を明記

●	親	子	夏	休	み	キ	ャ	ン	プ	i	n	丹	沢	—	川
遊	び	や	バ	—	ベ	キ	ュ	—	を	楽	し	も	う		時
8	月	15	日	(月)	、	16	日	(火)	所	丹	沢
キ	ャ	ン	プ	場	(神	奈	川	県	足	柄	上	郡)	対
小	学	生	以	下	の	子	ど	も	と	保	護	者	¥	大	人
8	, 0	00	円	、	子	ど	も	5	, 0	00	円	申	7	月	15
日	ま	で	に	、	フ	ァ	ク	ス	で	元	気	ク	ラ	ブ	(
FAX	0	42	—	3	87	—	12	24)	へ	問	同	ク	ラ	ブ
・	鈴	木	(☎	0	42	—	3	87	—	98	03)		

144 字まで (横書き。 16 字×9 行)